

新規事業採択時評価の流れ(直轄事業)

資料1

<個別内示箇所>

高規格幹線道路又は全体事業費250億円以上



11月7日
～10日 都道府県知事等へ意見照会・公表



11月8日
～11日 社整審 道路分科会 地方小委員会(各地方)



11月16日 社整審 道路分科会 事業評価部会(本省)

(新規事業化要求)



年末
(12月24日) 政府予算(案)決定(内示)

<その他箇所>

高規格幹線道路以外で全体事業費250億円未満



1月11日 都道府県知事等へ意見照会・公表



1月16日
～20日 社整審 道路分科会 地方小委員会(各地方)



1月24日 社整審 道路分科会 事業評価部会(本省)

(政府予算案の審議)



年度末 実施計画で決定

新規事業候補箇所 選定の考え方(直轄事業)

対象事業: 高規格幹線道路以外で全体事業費250億円未満

①大都市やブロック中心都市等における
ボトルネック箇所への対策に資するもの

各都道府県内の道路管理者、公安委員会等で構成される
渋滞協議会等において公表されている主要渋滞ポイント
等の箇所

・交差点等における渋滞長、通過時間、混雑発生時間等から
渋滞箇所を選定

2,168箇所

直轄管理区間内における主要渋滞ポイント等の箇所

1,027箇所

うち対策未実施 265箇所

主要渋滞ポイント等を含む区間で事業実施環境が整っている
6事業(6箇所)

②地域の耐災性を高めるネットワークの
確保に資するもの

防災機能の評価手法における主要都市・拠点間に防災面の課
題があるリンク(防災機能の評価レベル:D)

・東北及び東海・東南海・南海地震が想定される中部、近畿、四国を
対象とし、津波浸水や落石崩壊など災害危険性が高く、災害発生
時に孤立等が想定されるリンクを選定

100リンク

直轄管理区間を含む防災面
の課題があるリンク

49リンク

うち対策未実施 26リンク

リンク内で事業実施環境が
整っている 1事業(2リンク)

左記以外で防災面の課題があ
るリンク

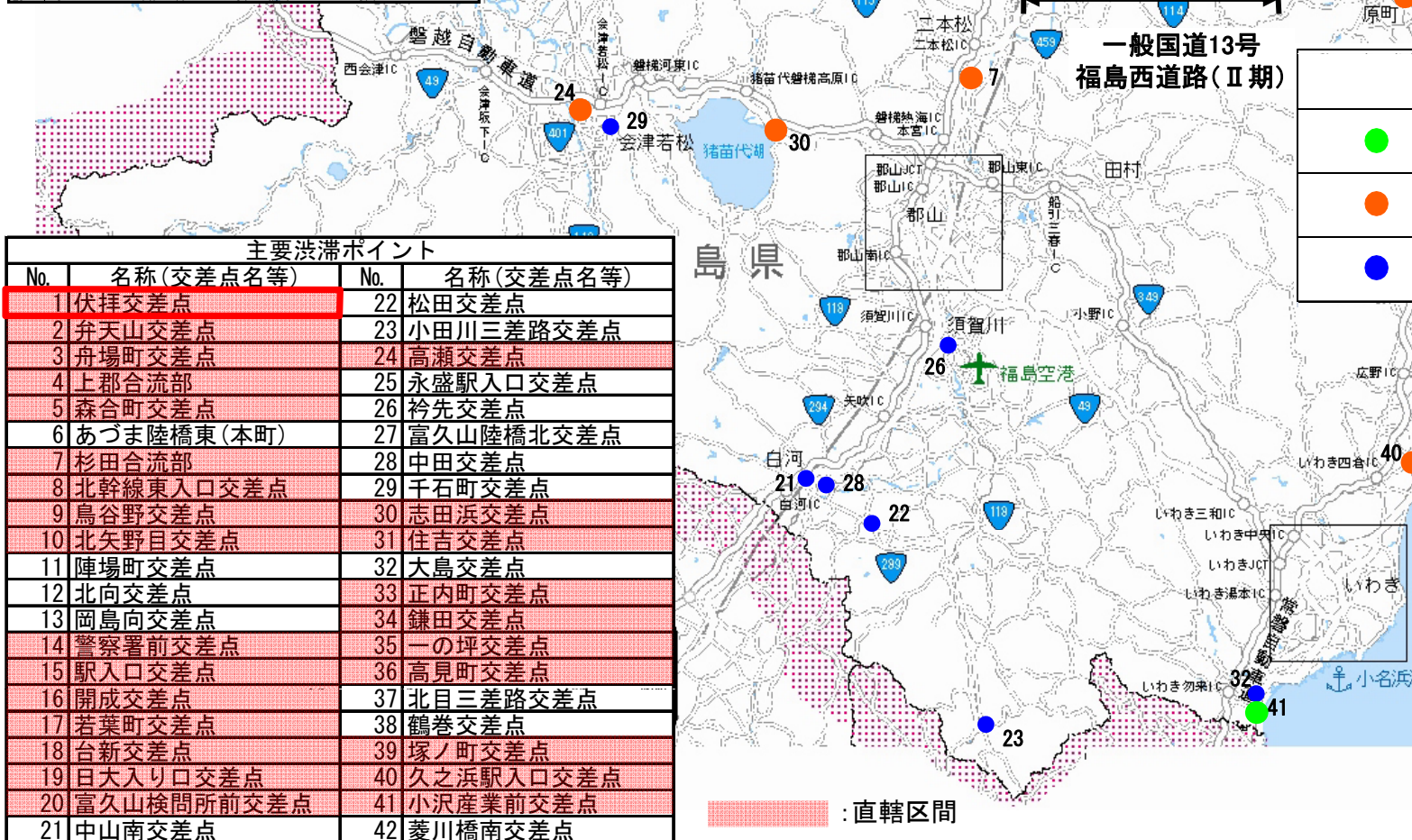
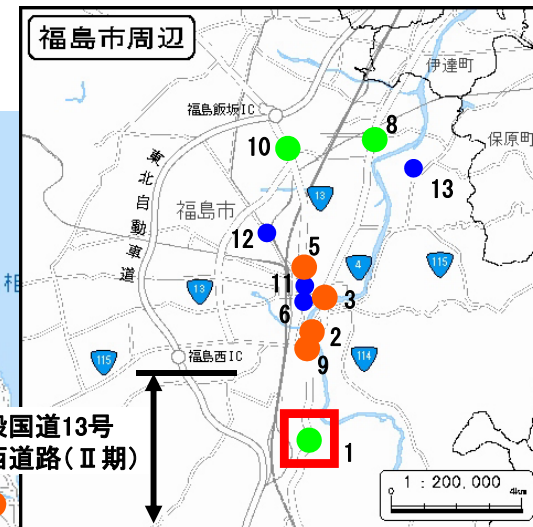
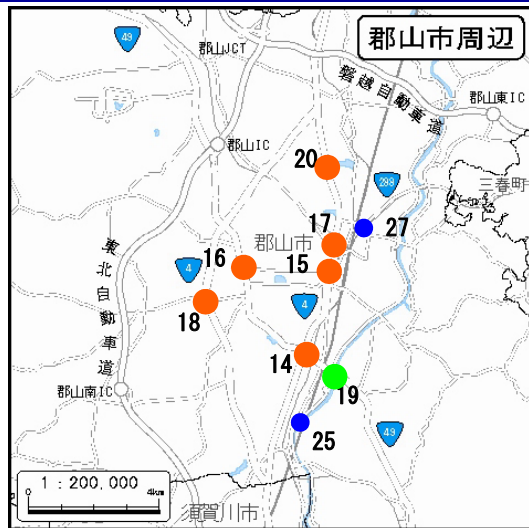
51リンク

うち対策未実施 46リンク

権限代行事業
2事業(2リンク)

8事業(1事業は重複)

主要渋滞ポイント等の位置図(福島県)



一般国道13号
福島西道路(Ⅱ期)

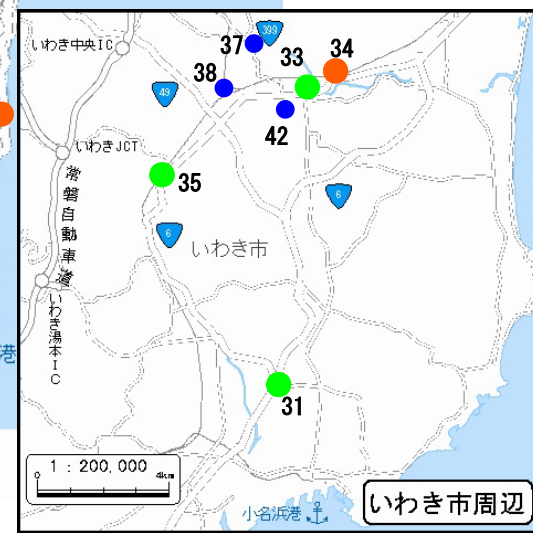
一般国道13号
福島西道路(Ⅱ期)

凡例(主要渋滞ポイント等)		
直轄国道	● (Green)	対策未実施 (8箇所)
	● (Orange)	対策実施 (18箇所)
	● (Blue)	その他 (16箇所)

(計 42箇所)

主要渋滞ポイント			
No.	名称(交差点名等)	No.	名称(交差点名等)
1	伏拝交差点	22	松田交差点
2	弁天山交差点	23	小田川三差路交差点
3	舟場町交差点	24	高瀬交差点
4	上郡合流部	25	永盛駅入口交差点
5	森合町交差点	26	衿先交差点
6	あづま陸橋東(本町)	27	富久山陸橋北交差点
7	杉田合流部	28	中田交差点
8	北幹線東入口交差点	29	千石町交差点
9	鳥谷野交差点	30	志田浜交差点
10	北矢野目交差点	31	住吉交差点
11	陣場町交差点	32	大島交差点
12	北向交差点	33	正内町交差点
13	岡島向交差点	34	鎌田交差点
14	警察署前交差点	35	一の坪交差点
15	駅入口交差点	36	高見町交差点
16	開成交差点	37	北目三差路交差点
17	若葉町交差点	38	鶴巻交差点
18	台新交差点	39	塚ノ町交差点
19	日大入り口交差点	40	久之浜駅入口交差点
20	富久山検問所前交差点	41	小沢産業前交差点
21	中山南交差点	42	菱川橋南交差点

直轄区間



防災面の課題のある箇所(東北、中部地方)

■リンクの防災機能の評価レベル

評価レベル	イメージ	耐災害性	多重性
A		◎	○
B(BB)		○(◎) (BB) 広域的な救助・救援活動、緊急物資の輸送拠点として位置付けられた場合	— (多重性の評価は必要としない)
C		×	○
D		×	×

※災害危険性のある道路とは、津波被害が想定される、事前通行規制区間において地震時に土砂災害等の恐れのある、橋梁が耐震補強未了等のある道路

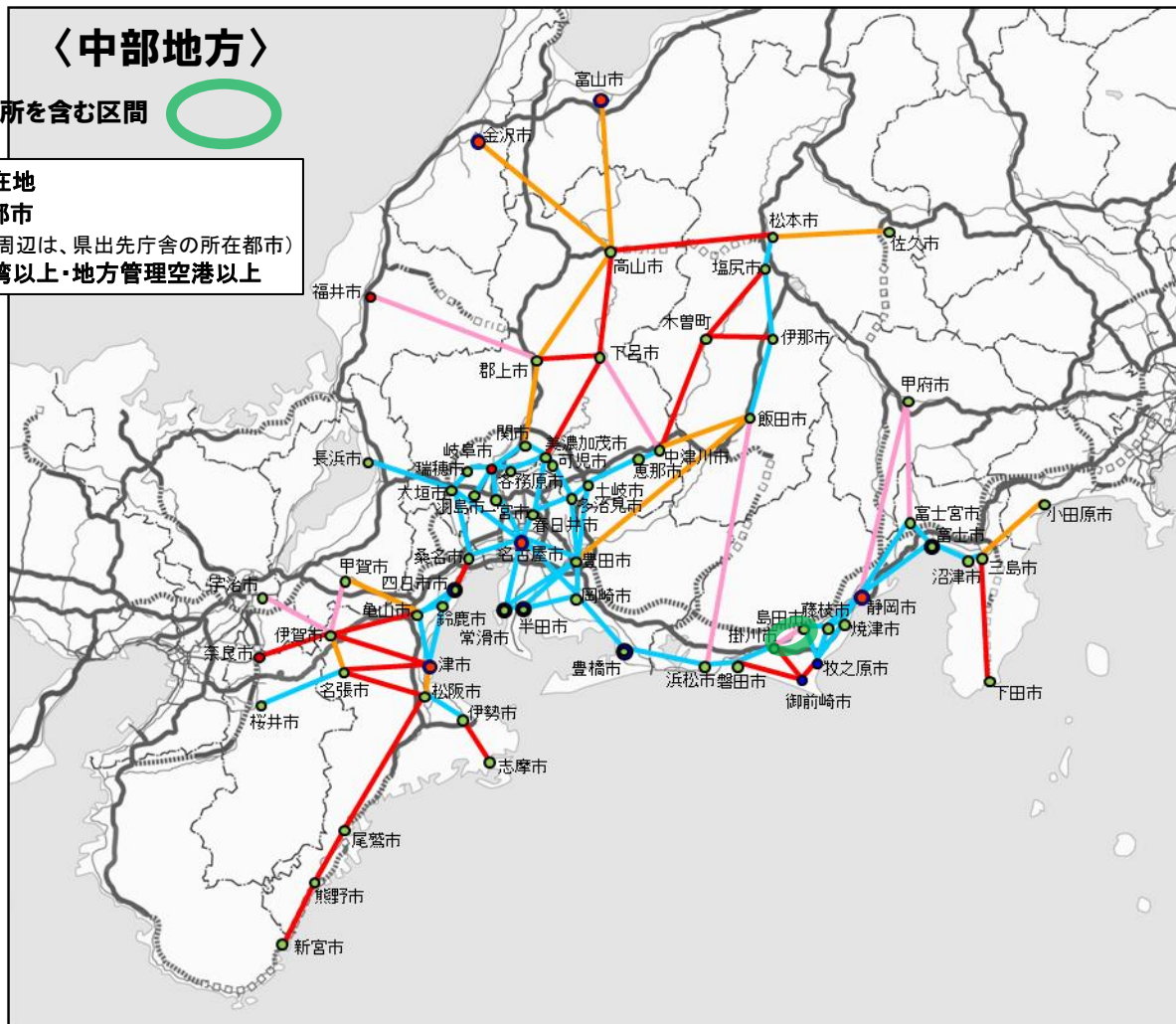
〈東北地方〉



〈中部地方〉

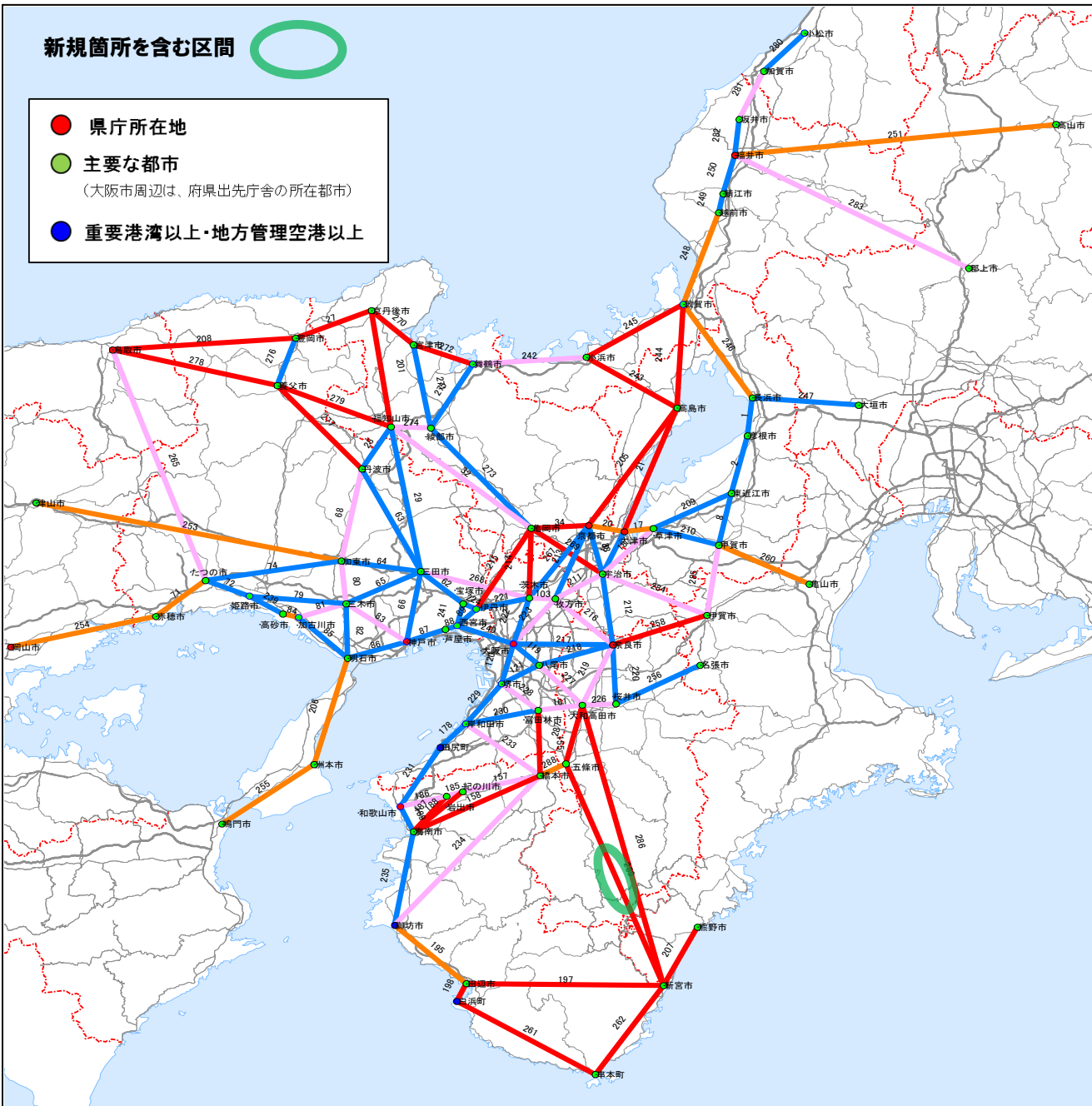
新規箇所を含む区間

- 県庁所在地
- 主要な都市
(名古屋市周辺は、県出先庁舎の所在都市)
- 重要港湾以上・地方管理空港以上

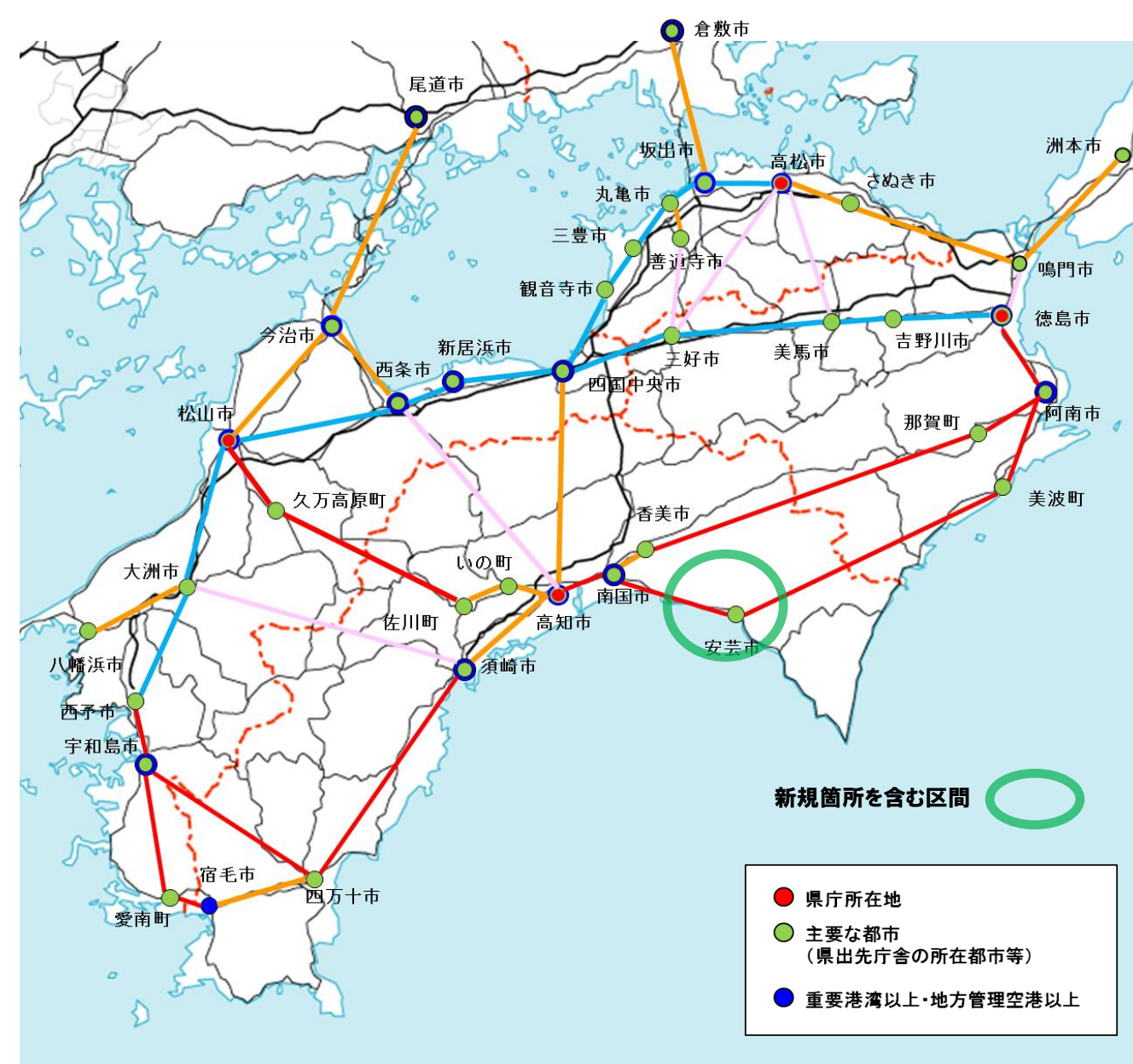


防災面の課題のある箇所(近畿、四国地方)

〈近畿地方〉



〈四国地方〉



H24新規事業箇所の状況

都道府県	路線名	箇所名	延長 (km)	全体 事業費 (億円)	渋滞面の課題		防災面の課題		社会・経済上の課題	事業実施環境 (都市計画決定 環境影響評価等)
					主要渋滞 ポイント等		防災機能評価 レベル(現況)			
1 福島県	一般国道13号	ふくしまにし 福島西道路(Ⅱ期)	6.3	245	○	・伏拝交差点 (渋滞長:L=710m)	A (福島市～ 二本松市)	・当該区間に事前通行規制区間等はないが、東日本大震災において現道の国道4号で土砂崩れが発生し、7日間の全面通行止め及び40日間の片側1車線対面通行により住民生活に支障	・福島市街地から県立医科大学附属病院(第3次救急医療施設)への救急搬送時間の短縮 (現況(混雑時):21分 → 整備後:15分)	○ 都市計画決定 環境影響評価
2 茨城県	一般国道6号	ひたち 日立バイパス(Ⅱ期)	3.0	240	○	・城南町交差点等 (渋滞長:L=1,200m、通過時間:16分) (平均速度20km/h以下:10時間/日)	—	—	・海岸沿いには、電機関連企業が多く立地しているが、幹線道路の渋滞により、製造体制を担う企業間の物資輸送が遅延	○ 都市計画決定
3 山梨県	一般国道138号	あらかや 新屋拡幅	2.6	80	○	・富士見バイパス南交差点等 (渋滞長:L=1,550m、通過時間:17分)	—	・富士山噴火時等の災害時において、幹線道路である国道138号は避難路として活用が見込まれるものの、幅員が狭いことから、円滑な避難に支障	・年間約100万人が訪れる観光施設が周辺に点在しているが、定時性が阻害され、観光振興に支障 (富士山駅～山中湖間周遊バス 通常時:100分、観光ピーク期:140分)	○ 都市計画決定
4 静岡県	一般国道1号	しまだかなや 島田金谷バイパス	10.4	240	○	・向谷IC (渋滞長:L=3,300m、通過時間:15分)	C (島田市～ 掛川市)	・島田市～掛川市の最短ルートにも関わらず、落石等による事前通行規制区間(6.0km)があり生活交通に支障	・大井川渡河部の渋滞により、朝夕の通勤など日常生活に支障 (菊川IC～野田IC間の所要時間 現況(混雑時):18分 → 整備後:11分)	○ 都市計画決定
5 高知県	一般国道55号	あき 安芸道路	5.8	245	○	・矢ノ丸1丁目交差点 (渋滞長:L=500m、通過時間:3分)	D (南国市～ 安芸市)	・東南海・南海地震による津波発生時、現道約4.6kmのうち、約4.2km(約91%)が浸水し、他に災害時に機能する迂回路が無く、救助・救援、緊急物資輸送に支障	・安芸市から高知医療センター(第3次救急医療施設)への救急搬送路の確保、搬送時間の短縮 (現況:71分 → 事業中区間整備後:32分 (うち当該事業により5分短縮)) ・高知県東部地域中心の安芸市から高知市や広域交通拠点である高知空港等への速達性が低い (高知市～安芸市の連絡速度:37.9km/h)	○ 都市計画決定
6 沖縄県	一般国道58号	ちやたん 北谷拡幅	4.3	230	○	・国体道路入口交差点 (渋滞長:L=800m、通過時間:9分)	—	—	・朝夕のピーク時や休日の混雑を観光客や商業施設の利用客が敬遠することによる、リゾート開発計画や基地返還跡地の区画整理事業への影響など観光振興や活性化に支障 (伊佐北交差点～アメリカンビレッジ間の所要時間 現況(混雑時):22分 → 整備後:8分)	○ 都市計画決定
＜権限代行事業＞										
7 福島県	一般国道121号	ゆのかみ 湯野上バイパス	8.3	240	—	—	D (会津若松市 ～南会津町)	・南会津地域～会津若松市の最短ルートにも関わらず、落石崩壊による特殊通行規制区間(0.5km)があり、線形不良箇所等(R<150m:16箇所、i>5%:100m)が多く緊急物資輸送に支障 ・当該区間において、落石(H22.9)の実績有り	・南会津地域から会津中央病院(第3次救急医療施設)への安定的な救急搬送路の確保、搬送時間の短縮 (現況:69分 → 会津縦貫南道路全線整備後:42分 (うち当該事業により2分短縮))	○
8 奈良県	一般国道168号	ながとの 長殿道路	2.6	110	—	—	D (新宮市～ 五條市)	・新宮市～五條市の最短ルートにも関わらず、土砂災害警戒区域、防災点検要対策箇所、線形不良(R≤50m:6箇所)、狭隘区間(W≤5.5m:16箇所)が多く緊急物資輸送に支障 ・台風12号(H23.9)による土石流により道路が寸断し、孤立集落の発生や大規模な迂回により救助・救援、緊急物資輸送に支障	・十津川村から県立五條病院(第2次救急医療施設)への安定的な救急搬送路の確保、搬送時間の短縮 (現況:134分 → 五條新宮道路全線整備後:67分 (うち当該事業により3分短縮))	○

【注釈】

○主要渋滞ポイント等:各都道府県内の道路管理者、公安委員会等で構成される渋滞協議会等において公表されている箇所

○防災機能評価レベルD:主要都市・拠点間を結ぶ主経路及び迂回路(迂回率1.5未満)のいずれも災害危険性が高く、孤立などが想定